

屈辱感、挫折感をもって
日大を去っていかぬので敬
しい。もし去って行くなら
日大闘争をほんの数時間、
数日間も自分の良心と人
間性に従って闘ったという
誇りと勇氣をもって去って
行って敬しい……いつの
日もスクラムを組むことが
できることを信じて、

日大生共同議長 秋田明大

下降的動向の巻版を回避して物年
に向ふことはおきない。相別闘争を放
棄することはおきない。相別闘争を
徹底的に追及し、ぎりぎりの月まで
もって行くことにより、運動の波の
発原と大衆性がありつるし、主体の
闘いの地平が切りあがるのである。
その過程を非手協的にいって断に追
及することこそがその時々時々での
権力に対する我々の側の最大限の結
反争なのである。
日大生共同議長 秋田明大